

## 2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年 2月 10日作成)

小委員会名	ルーラルデザイン小委員会	主 査 名：大沼正寛 就任年月：2018年 4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：神吉紀世子
設 置 期 間	2018年 4月 ～ 2022年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーラルベースドアーキテクチャ／デザインの研究ビジョンを構築する。</li> <li>・ルーラルデザインの価値創出、エリアの状況改善の可能性や課題について考察し、現代的潮流もふまえながらデザイン論・計画論の導出をめざす。</li> </ul> 初年度：年 3回（予備 1、本会 2）の研究会開催。関東・関西・現地で各 1回。 2年度：年 3回（予備 1、本会 2）の研究会を開催。 3年度：年 3回（予備 1、本会 2）の研究会、大会 PD（代替企画）を実施。 4年度：3年度に準じた活動と研究会を行い、発信活動につなげる。	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無： 有	
	主査：①大沼正寛（東北工業大学） 幹事：②平田隆行（和歌山大学）、③三笠友洋（西日本工業大学） 委員：④山崎寿一（神戸大）、⑤宮崎篤徳（関西大）、⑥下田元毅（阪大）、⑦稲地秀介（摂南大）、⑧佐藤圭一（福山大）、⑨池ノ上真一（北大）、⑩魚谷繁礼（建築家）、⑪菅原香織（秋美大）、⑫阿部正（建築家）、⑬津村泰範（長岡造形大）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. [公開] 農村計画委員会：リレートーク&WEB 討論「RUBBAR ーセトギワケンチク論 2020」(参加者数約 100 名、zoom および you-tube で配信)を実施したことにより、視点・論点の抽出と研究ビジョンの素描を行うことができた 2. フィールド系コサージュの試行と現場オリエンテッドな討議を行った 3. 各委員の取り組みと国内外各地の事例収集への動きに一定の方向を見出した
委員会活動の問題点 ・課題	1. コロナ禍によるフィールド調査の困難という根本的課題 2. 委員の多様性に配慮してきたため意見交換や情報発信は不足の面あり